

**教育費**

本年度の予算の中で、一番多いのが教育費です。第一中学校も四月の新学期からいよいよスタート。校舎建築も最終年度を迎え、あとひとときです。

**スクールバスを購入**

これにともない生徒の通学をより便利にするため、スクールバス一台を購入します。校舎の補修費については、安全でより学習のできるよう計上しました。新しい事業として、児童から自分たちの住む市の姿を知ってもらうために、小学校三年生の

**豊かな**  
昭和50年度予算

3月11日から25日まで開かれた市議会で、1年間を方向づける昭和50年度予算が決まりました。本年度の予算は、一般・特別・公営企業の各会計をあわせ40億7,815万3千円に達し、そのうち一般会計予算は25億5,887万4千円。昨年度当初とくらべ22.9%の伸びとなり

社会科副読本を五十二年度に作成する予定です。その編集に必要な調査を本年度から行ないます。学校給食費も、父兄に負担がかからないよう、とうぶん、現在の額で運営にあたります。社会教育については、変化の激しい社会にあって、きわめて重要な役割を果すことから、図書館の充実、青少年対策の強化などをするため増額しました。

責務です。そのため、国、県の制度を積極的に活用し、お年寄りや心身障害者などの医療費の無料化を本年も実施し、生きがいの持てる環境づくりに努力します。予防衛生の確立を 保健行政は市民をはじめ関係機関、地区組織などの協力をえて、はじめて効果が上がります。今後、皆さんと連携をとりながら、病気の早期発見、早期治療に加えて、予防衛生をより推進します。妊婦、乳児の医療費助成や母子栄養強化ミルクの無料支給などを積極的に行ないます。そのほか、助産費の二万円を四万円に、葬祭費一万円を一萬五千元にそれぞれ引き上げます。

**教育費 / 6億3,375万円**

- 主なもの ▷ 学校管理費…1億1,845万円 ▷ 教育振興費…2,122万円 ▷ 学校建設費…3億3,894万円 ▷ 公民館費…240万円 ▷ 図書館費…152万円 ▷ 学校給食費…906万円 ▷ 社会体育費…210万円 ▷ 青少年教育費…219万円

**臨時市議会**

三月一日、臨時市議会が開かれ、次のことが決まりました。第一中学校は、四月一日から四中学校が統合して、開校することになっていました。そのうち、新飯田中のみ、四年間延期し、昭和五十四年四月一日からすることになりました。

**新しい教育へ実践の年** 本年度は、本市の学校教育が、新しい方向へ出発する実践の年です。第一中学校の運営は、皆さんの期待にそえるよう最善の努力をします。第二次中学校と小学校の統合は、人口動態などの変化をみきわめて、皆さんの意見を尊重しながら進めて行きます。統合で、あく校舎の利用については、将来は、茨倉根、根岸中は小学校に、白根中は、体育館を社会体育施設として市民に開放し、一般校舎は、図書館郷土資料館などの教育関係の総合施設として、生かすことを考えています。本年度は農村地域が近代的で健

全な発展をとげるよう、生活と生産の両面から整備開発を実施する初年度とし、生産性の向上他産業従事者との生活水準の均衡を実現するよう進めます。まず、生産性の高い農業の確立をはかるため、各関係機関との協力で、集団的生産組織などの育成強化、国、県指定の各種生産団地事業の導入など、積極的に推進する考えです。生活環境の整備は、昨年指定を受けた「農村総合整備モデル事業」にそって行なわれるわけですが、その計画案をまとめると最終協議を行なう段階です。以上が、吉沢市長の施政方針のあらましです。住みよい白根市建設のため、全市民あげてのご協力をお願いします。

**25億**

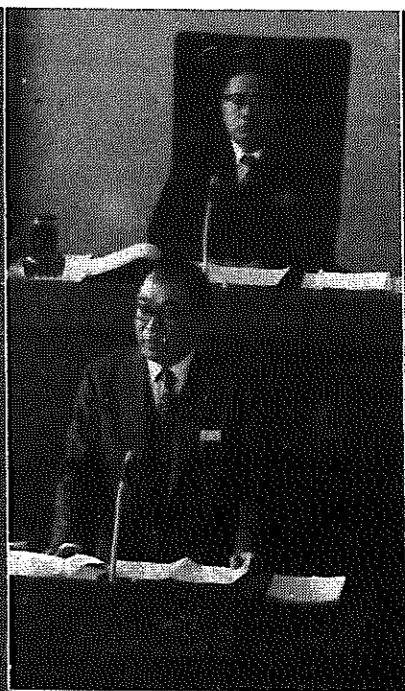
ました。この予算で①再建計画の早期達成②第一中学校の仕上げ③福祉施策の充実、生活関連社会資本の継続整備の3つの柱を中心に、市民生活優先の原則にたって、豊かな町づくりをめざします。

**予算の効率的 使用を**

昭和五十年年度の施策の所信を申し上げます。過去十数年にわたって、年率二十%の成長をとげた、わが国の経済の伸びも、安定成長への転換で、再び期待することは不可能といわれています。このため、国では五十年、五十一年の二か年を政策転換の調整期として、総需要抑制策などのいろいろな対策を行なっています。こうしたきびしい環境に加え本市の場合は、財政再建という至上命題をかかえています。予

算編成にあたっては、いままで以上に、財源の効率的配分をはかり、道路などの生活環境整備や福祉対策などを重点施策として、次のように取り組んで行く考えです。道路整備は、道路整備はもっとも力を注がなければならぬ、施策の一つです。交通事故の防止対策をふくめ国道八号線拡幅の早期実現と県道の舗装促進。市道の整備は基盤整備と農村総合整備モデル事業の、推移をみながら行ないます。基幹道路については、農道整備事業などの制度を活用して、積極的に整備します。最近「交通事故が道路管理が悪いために起きた」などで、訴訟事件に発展するケースが全国

的にみうけられます。本市でも、不測の事態に備え「道路賠償責任保険」に加入し被害者の救済をはかっています。公害・環境 都市環境の整備を進めるため、昨年決定した、用途地域の指定について正しい運用をはかり、都市下水路や街路、公園の整備をめざします。公害防止対策は、まずまず重要性を増しています。未然防止を重点に、進出する企業には、必要に応じ公害防止協定を結ぶよう指導していきます。市民のしあわせを願って 肉体的、精神的にめぐる



**一般会計予算**

(金額は千円以下切り捨て)

歳入 25億5,887万円	
市税	7億5,345万円
○市民税	3億6,146万円
○固定資産税	2億6,693万円
○自動車税	1,215万円
○たばこ消費税	6,493万円
○電気税	2,932万円
○ガス税	60万円
○特別土地保有税	469万円
○入湯税	3万円
○都市計画税	1,330万円
地方譲与税	1,800万円
自動車取得税交付金	2,000万円
地方交付税	7億4,467万円
交通安全対策特別交付金	332万円
分担金及び負担金	5,402万円
使用料及び手数料	1,526万円
国庫支出金	3億9,437万円
県支出金	8,093万円
財産収入	1,049万円
寄附金	318万円
繰入金	8,000万円
諸収入	2億4,742万円
市債	1億3,370万円
歳出 25億5,887万円	
一般会費	5,034万円
総務費	3億2,789万円
民生費	4億5,934万円
衛生費	1億3,541万円
健康費	684万円
農林水産費	1億4,009万円
商工費	1億0,948万円
土木費	3億0,509万円
消防費	8,314万円
教育費	6億3,375万円
公債費	1億6,206万円
前年度繰上充用金	1億4,440万円
予備費	100万円